

子育て中だからできる「わたしの未来応援ブック」の発行

赤ちゃんからのESD

 コース
自主事業

申込内容

■事業の概要

子育て中の親が自分を見つめ直し、地域や社会とつながるための「はじめの一歩」を応援するハンドブックを発行します。また、ハンドブックの内容を普及させるためのイベントを開催します。

■目的

地域社会とつながることができない保護者やしんどい子育てをしている保護者が元気になり、地域と主体的にかかわるきっかけづくりを目的とします。

- 交付決定額 80,000 円
 (事業予算 160,190 円)



◎活動の様子



赤ちゃんからのESDは、子どもたちが平和で安全に過ごすことができる未来をつくるために、一人ひとりが身の回りの生活や子育て環境を見直していく活動を平成18年(2006年)4月から行っています。活動に参加するメンバーは、0歳から小学生までの子どもをもつ親たち。これまで、バギーで参加するまちあるきや、親子カフェ、子育て講座など、メンバーがやってみたいという「思い」をそれぞれ「かたち」にするプロジェクトを行ってきました。

活動スタートから10年。これまでの活動をまとめた冊子を発行するため平成27年(2015年)7月6日(月)、千里公民館で「わたしの未来応援ブック」編集会議が開催されました。

編集会議は昨年度から続いており、今回で第11回め。ようやく各ページの内容が固まり、「持ちやすい大きさの方がいいのでは?」「おしゃれな感じにしよう」など、イメージも具体化してきました。「社会とつながりたいと思っているママたちに届けたい」「冊子を通して、楽しかったことを伝えたい」というメンバーの思いを大切に、子育てのヒントや工夫を盛り込んだ内容を検討しました。

タイトルは「SOUZOU」。「冊子で伝えたいのは、『結果』ではなくて、結果にいたるまでの『気づき』やそこで得た『思い』。そしてそれを形にするまでの『プロセス』。冊子を読んだ人が社会とのつながりを実感し、行動に移せるきっかけになれば」と代表の上村有里さんは話します。

また、メンバーからも「仕事をしていたり引っ越してきたりすると地域とつながるきっかけがなかなか持てない。私はたまたま行った市役所で開催されていたESDパネル展を見ている時に話しかけて、活動に誘ってもらった。子育て中のお母さんたちで何かやりたいと思っている人もいたので、そんな人たちともつながっていければ」という声が聞かれました。

冊子は12月に発行される予定。発行後は冊子を活用したイベントも開催する予定です。

